

本庄東高等学校



<フェアトレードを通じて世界の様々な問題を考える>

団体・学校の特徴	本庄東高等学校（私立高校、全校生徒数 1406 名）/本庄東高等学校ボランティア部（部員数 24 名、設立：平成 4 年）				
所在地（市町村名）	本庄市	会員数又は児童生徒数	24名	活動期間	1年1か月
活動内容	学園祭におけるフェアトレード活動				

特徴的な活動

令和元年度の学園祭において、ボランティア部は「フェアトレード」を行った。まず「フェアトレードとは何か？」を調べるとともに、現在の世界の労働問題や環境問題など多岐にわたる問題を考えるきっかけとなった。さらに学園祭で「フェアトレードとは何か？」という掲示・発表を行って、様々な物品を適正価格で販売し、完売させることに成功した。来場していただいたお客様にもフェアトレードに関心を持ってもらうことができた。

上記を通じて、ボランティア部の生徒たちは世界（特に発展途上国）の経済・労働・環境問題を深く考えるようになり、学園祭を通して、多くの生徒に呼びかけることができた。また、当日のお客様・近隣の地域の方々にもフェアトレードについて知ってもらい、様々な問題意識を共有することができた。来年度以降の学園祭でも「フェアトレード」を扱い、更に多くの人々に関心を持ってもらえるように、工夫を重ねたい（令和2年度の学園祭は中止）。



※本庄東高等学校ボランティア部は、他にも学校内や近隣地域の清掃活動、長期休暇中のボランティア活動などを行っている。